

キッチンや階段などの小窓のアクセントに、小さなカーテンを手作りしてみませんか？
ミニサイズならちょっとしたハギレがあれば手縫いでできますし、大きめでも
ミシンの直線縫いだけで簡単に作ることができます。手軽にインテリアの
イメージチェンジができますし、気分もリフレッシュすることができますよ。
付け替えも簡単なので、季節に合わせて気軽に模様替えも楽しめます。
お子様の夏休みの宿題にどうですか？



失敗しない生地選びのコツ

ミニカーテンを取り付けたい場所が決まったらカーテンを取り付けるための材料を用意しましょう。
小窓の横幅のサイズを測り、それに対応したサイズの伸縮可能なつっぱりポールを準備します。
100円ショップやホームセンターで手に入ります。
次に窓のサイズに合った生地を用意しましょう。
小さなサイズならば、手芸のハギレを使ったりするのもOK。
生地専門店より雑貨屋さんで販売されているフリークロスを使ったほうが安くできる場合もあります。
生地の色や柄はインテリアの雰囲気を考えて素材や色をお選びください。
使用する布の長さは、ベルト分なども考えて少し大きめに余裕持って用意しましょう。
最初に窓1枚のサイズを測り、それに合わせて生地を用意します。生地の幅にもよりますが、
窓のサイズ×3倍程度あれば大丈夫。ブロードなど洗濯できる綿素材のものが便利です。

ミニカーテン作り

基本のカーテン作り

伸縮可能なつっぱりポールで取り付ける窓のミニカーテンを作ってみましょう。



まずは布を裏返しに置き、チャコペンシルで印をつけます。左のイラストのように
縫いしろをとって、仕上がり線（窓のサイズ）と裁断線の印をつけ、裁断します。
（窓の幅が広い場合は2枚で仕立てます）

左右と下を仕上がり線に合わせて三つ折りにしてアイロンをかけ約15cm間隔で
外に向けてまち針を打ちます。



生地と同色の手縫い用も木綿糸を使って、まずは左右をまつり縫いし、その後
下を縫います。無地ならばあえて違う色の糸を使って、並縫いにするアクセント
にもなります。

上の断ち目は、ボールを通して余裕ができるくらいの輪を作って三つ折りにし、
アイロンをかけ同じようにまつり縫いをします。

ベルト作り

残り布があれば、カーテンを束ねておくベルトを2本作ることもできます。結ぶことを考えて長さ
と幅を決めましょう。

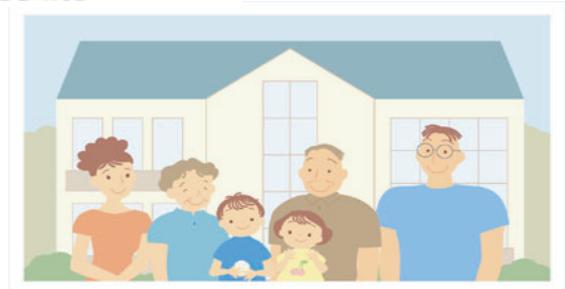


長さとお幅を1cm大きめに裁断します。

裏を表にして二つ折りにし、下とサイドの5mm内側を細かい目で並縫いします。

これを裏返して角をまち針などできれいに整え、アイロンがけをします。

裁ち目が出た部分は内側に織り込んで、カーテンの左右サイドの中程の
高さに並縫いでしっかり縫いつけます。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182 FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp
URL : http://www.toya.co.jp